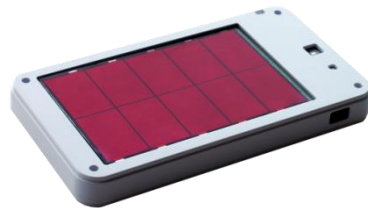


## 電池交換不要な薄型光発電ワイヤレスセンサーネットワーク端末を アルティマ、リコーと共同開発

厚さ0.4mmのマクセル製シート状二次電池を搭載、屋内光で発電し、安定した無線接続が可能



薄型光発電ワイヤレスセンサーネットワーク端末



シート状二次電池

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘/以下、マクセル)は、このたび、株式会社アルティマ(代表取締役社長:小林 雄祐/以下、アルティマ)および株式会社リコー(社長執行役員:三浦 善司/以下、リコー)との3社で、電池交換不要\*1な薄型光発電ワイヤレスセンサーネットワーク端末を共同開発しました。

本製品は、「第4回IoT/M2M展」(2015年5月13日~15日、東京ビッグサイト)のアルティマブース(小間番号:西1-35)にて、参考出展します。

この端末は、温度・湿度・照度などの屋内環境をモニタリングできるもので、二次電池と太陽電池を利用することにより、電池交換が不要となりました。

二次電池には、マクセルが開発した厚さ0.4mmのシート状ラミネート形リチウムイオン二次電池を採用し、リコーが開発した高効率な色素増感太陽電池と組み合わせることで、電池交換や充電が不要になるとともに、端末の薄型化を実現しました。

環境発電製品の開発、取扱いを行っているアルティマでは、上位レイヤとの接続に無線通信の堅牢性が高くかつ低消費電力のリニアテクノロジー社「Dust Networks」を採用し、またウェアラブル機器などとの連動にはBLE(Bluetooth Low Energy)を採用しています。

本製品は、2015年7月よりアルティマからサンプル出荷開始予定です。

マクセルは今後も、性能および信頼性の向上を図るとともにさまざまなニーズに沿った形状の電池開発を進め、スマートライフをサポートします。

\*1 電池交換不要: 使用環境、使用条件によります。

## ●マクセル製 シート状ラミネート形リチウムイオン二次電池について

### (1)概要

マクセルでは、さまざまな機器形状に合わせた電池のご要望にお応えするため、薄型機器に適した厚さ 0.4mm のシート状ラミネート形リチウムイオン二次電池を開発し、サンプル出荷を開始しました。

・参考:プレスリリース(2015年1月13日付):

ウェアラブル機器に適した小型リチウムイオン電池製品を拡充

<http://www.maxell.co.jp/news/release2015/news20150113a.html>

### (2)特長

1. セル厚み 0.4mm で薄型カード機器への埋め込み電源などに適した二次電池
2. サイクル寿命 500 回を確保、繰り返しの充放電後も安定した放電容量を実現
3. 独自ゲルポリマー電解液の展開による液漏れ品質の向上

## ●アルティマ製薄型光発電ワイヤレスセンサーネットワーク端末について

(1)製品名:EH-Terminal(EH ターミナル)

### (2)概要

- ・屋内向け無線センサー
- ・電池交換不要
- ・温度、湿度、照度をモニタリング可能
- ・マクセル、リコー、アルティマ 3 社の最新技術を活かした薄型形状
- ・屋内壁面などに簡単設置

(3)外形寸法:幅 63mm ×高さ 13mm ×奥行き 115mm

### (4)応用例

オフィス、家庭、工場、商業施設などの屋内環境におけるモニタリング機器として

(5)サンプル出荷予定時期:2015年7月

(6)製品の詳細はこちら

<http://www.m-pression.com/ja/solutions/boards/eh-terminal>

以上

---

記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、掲載日時点のものです。

予告なしに変更され、掲載日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

---